

松本市基幹相談支援センター会議・研修会報告

会議・研修会名 令和 8 年度 第 3 回くらす・つながる地域部会	開催日：令和 8 年 8 月 3 日（月） 時 間： 10:30～12:00
参加者構成機関名 医療法人青雲会倉田病院、医療法人芳州会村井病院(欠)、医療法人和心会松南病院、ケ・セラ社会福祉士事務所、中信社会福祉協会障害者支援施設共立学舎、松本市保健所保健予防課、障がい者相談支援センターあいほっと、指定一般相談支援事業所ハートラインまつもと、松本市役所 障がい福祉課 松本市障がい者基幹相談支援センター(事務局) 計 11 名	

会議内容

1. 報告事項

- ・ 地域移行連絡会について

これまでプロジェクトとして実施していた会議を「地域移行連絡会」へ移行したことが報告された。併せて、連絡会において協議した内容や、今後の地域移行支援の進め方について共有が行われた。

2. シンポジウムについて

(1) シンポジウムの開催概要

- ・ 開催日：令和 8 年 11 月 9 日(月) 開催予定
- ・ 時 間：14 時～15 時 30 分（受付開始：13 時 30 分）
- ・ 会 場：松本市勤労者福祉センター
- ・ 対象者：障がい福祉に関わる支援者

(2) 講演内容

コアメンバーにて講師予定である長野市障害者地域移行コーディネートセンター西川氏と事前打ち合わせをし、講演内容を検討した。内容としては、長野市での取り組みを中心に内容を組み立てることとした。

入所施設からの地域移行については、詳細な実践事例の紹介は難しいものの、現状の共有と、可能であれば 1 事例程度の報告を依頼する。

(3) シンポジウムで取り扱う内容についての検討

部会内で検討し、以下の検討がなされた。

精神科病院からの指定一般支援(地域移行支援)の利用について、短期間の入院では退院支援のペースやタイミングがかみ合いにくいという課題がだされた。

長野市が事例を重ねる中で、3 か月程度の短期間の入院であっても、病院のソーシャルワーカー

ーと地域支援者が歩調を合わせて支援する方法があれば聞きたいとの意見があった。

また、次のような具体的なサービスや支援の活用の例が示されると、参加者にとって実践に結びやすいのではないかととの意見があった。

入所施設からの地域移行についても、1 事例でも紹介されることで、今後の取組を始めるきっかけになるとの意見があった。

(4) 実践報告の実施方法

- 単に事例の経過を紹介するのではなく、各機関が実際に取り組んでいる内容や工夫を報告する。
- 1 事例当たりの報告時間は、5 分から 10 分程度を目安とする。
- 聞き手に分かりやすく伝えるため、PowerPoint 等の資料を使用する(スライド 2-3 枚程度)。
- 報告する内容や構成については、事前に登壇者との打ち合わせを行う。

(5) 実践報告の候補

現時点では、以下の 4 件を候補とする。

① 信濃友愛会 障がい者相談支援センターあいほっと さん

地域移行支援に関する事例

② 倉田病院 さん

ピアサポートを活用した取組

③ 共立学舎 さん

入所施設における地域移行の意向確認に関する取組

④ 西部福祉課 さん

職員の気づきをきっかけに、地域移行に向けた取組が始まった事例

以上